

# 地域の将来は？

# 私たちにできることは？

## さあ、話し合いを始めましょう

日頃の生活や活動を通じてつくられていく「地域の住民や団体どうしのつながりや顔見知りの関係」、それが地域コミュニティです。

どこでもあいさつ、みんなで行事、安心の見守りや支え合い、楽しい備えがある…、そんなことができる地域が理想です。



### 地域コミュニティとは

## 地域 コミュニティ 地区(公民館単位)の取組み

### 新しい地域コミュニティ組織とは

住民が、地域の自治を進めるために、自主的につくる組織を地域コミュニティ組織と呼びます。「新しい」とは、将来に向けて必要な体制を築くということを意味します。

そこでは、住民同士が話し合い、地域が「こうなったらいいなあ」という目標を決めます。その目標に向かって、地域の課題解決や、つながりを強める活動を企画し、実施します。

全国的に地域の元気がなくなっているといわれています。特に村部では、人口が減少し、伝統行事や日役の継続が困難になる、商店などの施設がなくなる、など、地域の暮らしをどう支えるかが大きな問題です。一方で、人口が増えている地域もあり、そこでは、住民のつながりが希薄となつて、さまざまな問題が出ている状況もあります。

豊岡市でも、同じように課題を抱え、どう地域づくりを行うかが大きな問題です。

地域の住民、団体、市が協力して、より良い地域づくりを進めるために必要な仕組みを整え、地域の活性化と自治を実現し、持続可能な地域運営を目指す必要があります。

そこで、市では、市内の29地区(地区公民館単位の区域)を基本として、新しい地域コミュニティのあり方の検討を始めています。

その状況や方向性をお知らせします。

《問合せ》政策調整課  
☎21-9022

そのため、組織形成に当たっては、地域状況に詳しい方を中心に、幅広く多くの住民に参画してもらう必要があります。

### 地域自治とは

地域を活性化し、各団体の個別の活動だけでなく、今の地域に本当に必要な取組みをみんなで話し合い、協力していくことを地域自治(住民自治)といいます。

地域自治を行う上では、次のことを大切にしなければな

りません。

### ■地域資源

まちなみや伝統・文化、そこに住む人々や活動など、今の地域にあるたくさんの方々の財産を大切に守り育て、活動に生かしていく。

### ■自主性と民主性

住民全員が地域コミュニティの一員であり、一人一人が平等に権利と義務を持ち、全員で決めたルールを守る。

### ■補完性の原則

地域でできること、できないことを話し合い、地域にしかできないこと（住民同士の見守りや声掛けなど）に積極的に取り組む、地域でできないことは市全体で取り組む。

### ■情報共有・参画・協働

住民みんなで地域の情報を共有し、地域活動や運営にできるだけ幅広い層が関わり、それぞれの特技を生かし、弱点を補い合う。

## これまでとこれから 地域と市の関係は

これまででは、地域と市は、福祉・教育・防災・農業など、行政の専門性によって、部署ご

とで地域とつながっていました。

これからは、現在の関係の良いところはそのままに、加えて次のことが必要になってきます。

地域では、団体や住民が横につながり、話し合いや決めごとができる体制を、また、市は、その体制にしっかりと対応できるように、各部署が情報を共有し、連携する体制を整えなければなりません。そして、共に、持続可能な社会の実現を目指して連携・協力する関係を築きます。

## そのイメージは

では、そのイメージはどのようなものなのでしょうか。

個々の集落の活動にも限界が生じてくることから、今後の地域づくりについては、地区公民館の区域をまとまりとする新しい地域組織による活動をイメージしています。

そのためには、まず、地区公民館を地域コミュニティセンター



▲昨年7月に開催の「新しい地域コミュニティづくり研修会」には多くの方が参加しました

に変更し、できるだけ多くの住民や地域の団体などの参画で地域コミュニティ組織を立ち上げます。そこでは、公民館の生涯学習活動を含め、地域が求めることを選択し、実現できる体制・環境を整える必要があり、環境を整える必要が考え、自ら行動する地域自治を基本として、市がそれに連携、協力する形です。そのことをイメージに表すと下図のようになります。

